



細木 病院

**ポピー病棟（緩和ケア病棟）
講演会開催 & 療養環境改善**



課からは、ベッドからの起き上がり、ベッドから車いすへの移乗、ベッドに戻った時の除圧方法などの演技の実演。薬剤室からは、飲み忘れを防ぐひとし

★ホスピス緩和ケア週間に講演会を開催しました！

日本ホスピス緩和ケア協会では、平成18年度より「世界ホスピス緩和ケアデー」を最終日とした1週間を「ホスピス緩和ケア週間」とし、緩和ケアの普及啓発に取り組んでいます。細木病院ホピー病棟（緩和ケア病棟）でもこの活動に参加し、平成22年度より継続してイベントを企画しており、今年度で9年連続の参加となりました。

今年は、10月12日に当院新館地下高
 1階記念講堂において、「在宅療養に活

かせるひと工夫」をテーマに、在宅療養をしている患者さんとそのご家族の手助けになるようなアイデアや技について、当院の看護部、リハビリテーション課、薬剤室による講演会を開催し、23名の参加がありました。看護部からは、ベッドに寝たままでシャンプーする時のひと工夫。リハビリテーション



ポピー病棟見取図

★10月よりポピー病棟の療養環境を改善しました！

当院南館3階にあるポピー病棟は平成15年10月より緩和ケア病棟入院基本料の算定が認可され、11部屋14床(個室8部屋、2人室3部屋)で稼働を開始しました。緩和ケア病棟には、痛

まった薬の処理方法などについて話が
ありました。

近年、国の政策により、がん終末期の患者さんでもできるだけ在宅で看取るような流れになってきています。しかし、具合の悪い患者さんを自宅で介護するには大きな力が必要となります。ご相談のある方は、当院患者サポート室やポピー病棟のスタッフまでお気軽にお問い合わせいただければと思います。

られた空間となり、がん終末期の患者さんが2人同時に入院してご利用いただくとなると、プライバシーの問題や家族だけで過ごすための貴重な時間の提供ができないのではと、これまで2人同時入院はできるだけ控えていました。このため、ポピー病棟で療養したいと希望しても入院できないケースもありました。

そこで、開設15年目となる今年、改修工事を行うのを機に、全部屋個室トイレ完備の12部屋12床（10部屋無料、2部屋有料・税抜3,000円／日）にして、療養環境を改善することにし、10月から稼働を始めました。工事期間中は、入院中の患者さんやご家族にご迷惑をおかけしましたが、これまで以上に緩和ケアを必要とする方を受け入れられるようになりましたので、スタッフ一同、一丸となって尽力していきたいと思えます。

(ポピー)病棟看護師長 片岡 健

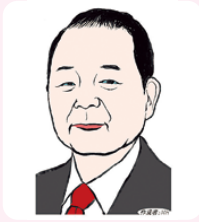


ポピー病棟スタッフ一同

みやしんど
さなどの苦
痛症状を抱
えたがん終
末期の患者
さんが入院
し療養され
ます。しか
し、2人室
はカーテン
1枚で仕切

時 事
エッセー

どうなる？
今からのホテル



仁生会理事長
細 木 秀 美

病院関係の仕事や学会で、東京、大阪などへ出張することが多いが、特に東京では、いつも宿泊するホテルは決めている。そのほうが間違えないし、いつものとおりで考えなくていいので楽である。しかも、忘れ物をしても出てくることが多い。泊まっても大抵、翌朝早く高知へ帰るので、羽田空港へ早く到着するホテルが便利である。しかもパック旅行でも使えるし、都合がいい。フロントでチェックインすれば、チェックアウトは鍵を返す箱の中にキーを投げ込めば済む。省力化されていて便利である。バイキングの朝食も、あんなに多様な副食は必要ない気がする。朝早く食事がとれるのはありがたいが…。

将来は、ホテルの使い心地がどんなに変化するだろうかあと漫然と考えていたら、インターネットに将来のホテルの姿が出てい

た。ホテルに入ると、まずフロントに向かうのだが、フロントマンはロボットで、チェックインはIT化されて、従来のフロントマンは消えそうだし、ルームキーも無くなるらしい。チェックインもチェックアウトも時間の制限がなくなって、いつでもできるようになるらしい。部屋に備え付けられている歯ブラシや整髪用のくしやブラシは消えて、それぞれ、フロントに自動販売機が設置してあれば、事足りる。その分、宿泊代を安くしてほしいが…。しかし、連泊の場合は、部屋の清掃は有料になりそうだ。室内での喫煙は、全面的に禁止になるだろうし、これは健康にも良いだろう。今のようにスマホが普及すれば、部屋の固定電話も消えそう。室内に置いてある聖書も電子化されるだろう。そう考えていると、ホテルに泊まっても、ホテルマンに会わなくなる日が次第に近づいている気がする。しかし、人に会わなければ、なんとなく味気ない気がするが…。



なぜ医療現場に接遇マナーが必要なのでしょう？

細木病院

接遇マナー研修を開催しました！

9月27日と10月19日

に、接遇研修会。みんなで取り組もう!!『接遇マナー』を開催しました。講師は、当院接遇向上委員であるデイサービスさくらんぼの介護福祉士、政平佐知さんが担当しました。政平さんは以前、ホテルでの接客の経験があり、当委員会の中でも接遇マナーのスペシャリストです。

今回、私が印象に残っている内容を2点紹介したいと思います。一つ目は「マナーの良い人が必ず使っている魔法の言葉」です。その魔法の言葉とは「クッション言葉」です。クッション言葉とは、話の本題の前に「お手数おかけしますが」など、ひとつ言葉を付け加える技法です。これを用いることで相手に対する配慮や思いやりが伝わります。

二つ目は「すみません」という便利な言葉です。この言葉は挨拶がわり、軽い謝罪やお礼の言葉としてよく使われますが、謝罪で

はない場合は、気持ちを込める意味として、「すみません」ではなく「ありがとうございます」という言葉で伝えることが大事だと思います。

今回の研修で、身だしなみや態度、表情、言葉遣いなど、ちょっとしたことを意識することで印象は随分違うものになると思いました。職員一人ひとりが接遇マナーの向上に努め、患者さんや地域の方が気持ちよく利用できる病院に、職員も働きやすい職場となるように取り組んでいきたいと思っています。

(接遇向上委員・理学療法士 松田恭兵)



細木病院

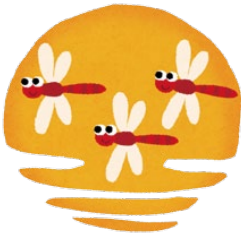
日本医師事務作業補助研究会 第5回高知地方会 開催



8月18日、サンピアセ
リーズにおいて、NPO
法人日本医師事務作業補
助研究会第5回高知地方
会が開催されました。こ
の研究会の高知県支部
は、細木病院の堀見忠司
院長が顧問を、情報シス
テム管理課の門田美紀医
療秘書が支部長を務めて
います。今回は、できる
医師事務作業補助者シ
リーズ第2弾「カルテ・
診断書の書き方講座」を

テーマに、県内外より97
名の参加がありました。
高知高須病院管理部支
援室の山岡正明室長によ
る「医療事故（紛争）と
カルテ等記載について」
の講演では、診療録は医
師の単なる備忘録ではな
く、医療スタッフ、患者
さん、家族のためのカル
テでもあり、遅滞なく記
載する必要があること
や、実際にあった診断書、
申請書等のトラブル事例
から対応策、作成時の
留意点などを学びまし
た。また、細木病院、
町田病院、幡多けんみ
ん病院からの事例発表
は、日ごろの業務の参
考となる内容ばかりで
した。さらに、診療補
助業務、医療文書作成
補助業務、コミュニ
ケーション、人材育成、
スキルアップのテーマ
別に分かれた情報交換
会では、所属施設での
取り組みや体制、困っ

ていることや課題などが
それぞれ話し合わせ、よ
り一層実務者同士のつな
がりを持つことができま
した。
参加者からは「今回講
演を聞いたことにより危
機感が生まれた」「他医
療機関の現状を知ること
は自分たちの業務のスキ
ルアップにつながるの
でうれしい」「他の病院の
方と交流の場があるのは
とてもありがたい」など
の感想がありました。今
後も情報共有の場に積極
的に参加し、日々の業務
に活かし、ステップアッ
プしたいと思います。
（情報システム管理課
医療秘書 野村香苗）



細木病院

日高村総合運動公園で 秋の糖尿病ウォーキング



患者さん8名、
職員18名、協力
業者5名の計31
名が参加し、日
頃の生活習慣、
栄養、薬剤など
に関する話をし
ながら汗を流し
ました。歩行距
離は約2.5kmで設
定しました。余力のある
方は約5km、50分間をか
けウォーキングしまし
た。その後、
メダカ池周辺の
の緑地で当院
の管理栄養
士が献立した
糖尿病患者さ
ん向けのお弁
当を食べまし
た。運動後に
屋外でお弁当
を食べる機会
は新鮮で、管
理栄養士の説
明を受けなが
ら皆で具材や
味付けの工夫

今秋は、10月20日、日
高村総合運動公園とメダ
カ池周辺をウォーキング
しました。秋晴れの中、
患者さん8名、
職員18名、協力
業者5名の計31
名が参加し、日
頃の生活習慣、
栄養、薬剤など
に関する話をし
ながら汗を流し
ました。歩行距
離は約2.5kmで設
定しました。余力のある
方は約5km、50分間をか
けウォーキングしまし
た。その後、
メダカ池周辺の
の緑地で当院
の管理栄養
士が献立した
糖尿病患者さ
ん向けのお弁
当を食べまし
た。運動後に
屋外でお弁当
を食べる機会
は新鮮で、管
理栄養士の説
明を受けなが
ら皆で具材や
味付けの工夫



次回、春の開催を予
定しています。運動や食
事を通じて患者さんと
職員の交流の場になれ
ばと考えています。興
味がある方は、当院内
科外来 ☎ 088-822
-7211 までお問い合わせ
ください。
（細木病院糖尿病チ
ーム・
理学療法士 野口耕造）



在宅ネットワーク 通信

地区民運動会で
地域交流

10月14日、第四小学校の校区の地区民運動会が開催され、同じ校区にあるグループホーム・デイサービスさくらんぼの職員も参加しました。学童や家族のほか、周辺住民や地域の役員さんなど顔なじみの方も多く、競技が始まると、地区別に分けられたテントからは、終始大きな声で「頑張れー!」の声飛び交っていました。私たちは、24種目のうち、基本

的に走る競技にはエントリーしませんでした。私たちの「青組」を応援する声は、どのチームよりも負けていなかったと思います。男女ペアで、樽の中のビールをストローで飲み、空にしていく「ビールの早飲み」競技に出た選手は、ふうつきながらテント内に帰って来て、大きな声援と拍手で



迎えられたり、あちこちで笑い声が聞こえていました。吹く風がややひんやりしてきた夕方、結果発表

まっことネット細木 <12月の予定>

高知市上町5丁目4-1ピュアリフレビル1階

☎090-7788-1305

月～金（祝日休み）午前9時～午後4時

◆介護相談（相談無料）

月～金（祝日休み）午前9時～午後4時

◆まっこと講座『病院で使える中国語講座』

13日（木）27日（木）午後3時～午後3時30分

◆糖尿病教室『年末年始に気をつけよう』

20日（木）午後2時～午後3時

◆防災教室『救急車が到着するまでにすること』

28日（金）午後3時～午後3時30分

◆笑いヨガ

19日（水）午後2時～午後3時

◆子育て広場「つみき」

4日（火）午前10時～12時

◆いきいき百歳体操

毎週月と木（祝日休み）午前10時～11時

♥参加費は無料です♥詳しくはホームページでご確認を♥

の後には、お楽しみ抽選会。朝入り口で配られた番号札を握りしめて最後まで楽しむことができた。1位の景品「自転車」を当てたのが、デイサービスさくらんぼの職員のお義父さんと知り、皆で「よかった、よかった」と言いながら、運動場を後に全身で地域交流をした1日でした。

（在宅部長 廣井三紀）



ご存じですか!?

ソーシャルワーカー
からのミニ情報

福祉的就労について



見込まれる方が対象となり、一般就労に向けて事業所内や企業における作業や実習等を通し、適性に合った職場への就労を目指します。また就労後の定着のための支援も行います。福祉的就労を利用することで、作業所で働きたい方、企業での就労を目指す方、それぞれ自分の特性に合わせて、支援を受けながら働くことができます。

障害者の働き方には「一般就労」と「福祉的就労」があります。福祉的就労には「就労継続支援」と「就労移行支援」があり、就労継続支援はさらにA型とB型に分かれています。A型は一般企業の就労は困難であるが雇用契約に基づく就労が可能な方が対象となり、最低賃金が保証されます。B型は一般企業への就労や雇用契約に基づく就労が困難な方が対象となります。一方、就労移行支援は、一般企業に雇用されることが可能と

野村佳菜子





発達障害について、スタッフの理解や知識を深め、支援の質を高めるため、発達障害者支援センターから講師をお招きして、普段は当事者向けに実施されている「社会人になる前のプレステップ

細木ユニティ病院
～精神科デイケア・フレンズ通信～
ハロー★フレンズ
発達障害の理解と支援のために
社会人になる前の
プレステップ講座を通して

講座」という全6回のプログラムを、今年1月から8月にかけて、デイケアフレンズのスタッフ全員が受講し、グループワークを体験すること

で、利用者さんの支援のためのエッセンスを学ぶことができました。具体的には、社会に出たり仕事をするために必要なスキル、自分の生活習慣を整えること、身だしなみや整理整頓ができること、余暇の過ごし方、金

講座」という全6回のプログラムを、今年1月から8月にかけて、デイケアフレンズのスタッフ全員が受講し、グループワークを体験すること

発達障害がある方の生活のしづらさや困り事が一人ひとり違うように、したいことや目標も人それぞれ違います。利用者さんがどんなことに困り、どうしたら夢や目標に近づくことができるのか、障害となっている困

り事を一緒に確認して、対処や具体的な計画を立てる支援方法をこの講座でたくさん学ぶことができました。

価格の安い後発医薬品（ジェネリック医薬品）の使用促進は、国の医療費適正化計画の中で主要な施策の一つとなっています。厚生労働省は、膨張する医療費に歯止めをかけようと、後発医薬品の使用が進んでいない都道府県を重点地域に指定して、なぜ普及が遅れているか問題点を調査し、医師と薬剤師が連携する仕組み作りなど、後発医

お薬相談室
後発医薬品の普及促進——高知県は全国45番目

薬品への理解を深めてもらうための取り組みを進めています。

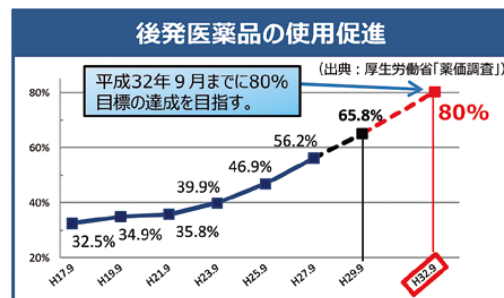
後発医薬品は、新薬の特許が切れた後に、同じ有効成分を使って製造された薬であり、研究開発のコストが抑えられるため、先発医薬品の半額以下で販売されています。細木病院では、国の施策に則り、入院患者さんに

対する後発医薬品の使用も、患者さん自身が選ぶことができる。最近の調剤医療費（電算処理分）の動向」の平成29年9月時点の調査によると、高知県の後発医薬品の使用割合は64.4%で、47都道府県中45番目と大変低い状況です。現在の医療制度を破綻させず、子や孫の代まで続けていくことができるよう、後発医薬品の選択を検討していただけたらと思います。

先発医薬品と後発医薬品（ジェネリック医薬品）との比較		
	先発医薬品 ＜カスター錠10mg＞	ジェネリック医薬品 ＜ファモチジン錠10mg「〇〇」＞ 【多くは2割～7割】
薬価	22,30円	9,60円～12,40円
成分	ファモチジン 10mg 乳糖水和物、 トウモロコシデンプンなど	ファモチジン 10mg ステアリン酸Mg、 トウモロコシデンプンなど
効能・効果（効き目）	同じ* （胃痛、十二指腸潰瘍など）	
用法・用量（飲み方）	同じ* （1回20mgを1日2回、又は、1回40mgを1日1回経口投与。年齢・症状により適宜増減。）	
承認申請のデータ	品質	○
	安定性	○
	薬理	○
	毒性	○
	体内動態	○
臨床試験	○	△（生物学的同等性試験）
開発経費	一般的に300～1000億円	一般的に1億円程度

* 先発医薬品の特許が一部有効である等の理由により、効能・効果や用法・用量が先発品と後発品とで異なる場合も例外的に存在する。
（出典：厚生労働省「後発医薬品使用促進事業」）

ことが選べる。最近の調剤医療費（電算処理分）の動向」の平成29年9月時点の調査によると、高知県の後発医薬品の使用割合は64.4%で、47都道府県中45番目と大変低い状況です。現在の医療制度を破綻させず、子や孫の代まで続けていくことができるよう、後発医薬品の選択を検討していただけたらと思います。



細木病院
三愛病院

第47回高知県オールドパワー文化展 デイサービス・デイケアから力作出品



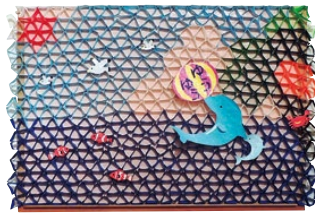
鑑賞に訪れたデイサービスさくらんぼの利用者さんと職員

9月13日～18日に高知県立美術館において、オールドパワー文化展が開催されました。細木病院グループの在宅部門からの出品は毎年恒例となっています。デイサービ



「川のがれのように」
デイサービスさくらんぼ

そして、良く晴れた気持ちのよい秋の日、利用者さんと職員が連れ立って、開催中のオールドパワー文化展を見に行きました。会場には、高齢など関係ない数々の力作が並んでいました。「私た



「まかふしぎ」
老人デイケアゆうゆう



「高知のいごっそう」
デイサービスいろはB



「お面ぶどう会」
デイサービスいろはA

た。今回、私たちの作品も展示されています。今回、私たちの作品も展示されています。今回、私たちの作品も展示されています。

展示作品の中には、同じ細木病院グループからの作品も展示されていて、大変励みになりました。今回、私たちの作品も展示されています。

スさくらんぼでは、利用者さん全員が製作に関わるものと考えながら開催時期も踏まえて秋をイメージしながら製作しました。皆さんそれぞれ得意不得意な面もあるため、作業を分担して彩りや配置を考えながら少しずつ進めていきました。全体の仕上りの雰囲気から作品名を「川のがれのように」と命名。素敵な作品に仕上がりました。

展示作品の中には、同じ細木病院グループからの作品も展示されていて、大変励みになりました。今回、私たちの作品も展示されています。

は大きな賞を取ることはできませんでしたが、利用者さん全員（最高齢97歳！）で完成させたことに満足しています。でも、「来年は賞を狙いたいねえ」と帰りの車中では活気がみなぎっていました。作品の鑑賞は、社会とのつながりや生きがいを見だし、普段とは違った貴重で楽しい時間を過ごすことができました。

（デイサービス
さくらんぼ介護福祉士
富田淳子）

仁生会のホームページ リニューアル！

<https://www.jinseikai.kochi.jp/>

または <https://jinseikai.kochi.jp/>

（どちらでも可）



このたび、社会医療法人仁生会細木病院グループのホームページをリニューアルしました。お気に入りへの登録をよろしくお願いします。

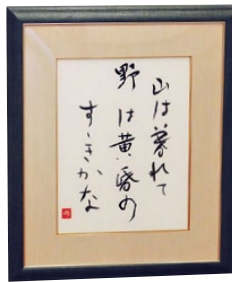
新しいホームページでは、仁生会の法人情報やグループ全体で発行している当情報誌「じんせい」のほか、これまでグループの職員にだけ配布していた、仁生会の幹部職員のリレーエッセー「ナウ・レッツ・ビギン」も公開しています。スマートフォンにも最適化していますので、ぜひご覧ください。



仁生会のホームページ
<https://www.jinseikai.kochi.jp/>



〔立体作品等の部〕
「マンボウ」小原征一



〔書道の部〕
「蕪村の句」
山本めぐみ



〔工芸の部〕
「Lilax lamp」
Maki

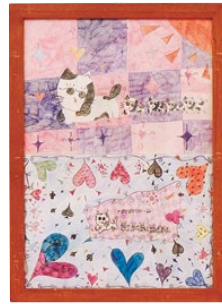
〔絵画の部〕



「花の中でかくれんぼ」
宮地照子



「サイダーのビン」
藤原ちか子



「大自然の中の猫親子」
Maki

「男組」
竹中貞夫



「花 I」
山本めぐみ



「東郷平八郎から明治天皇」
井上卓

10月5日～14日、高知県立美術館において、第22回高知県障害者美術展スピリットアートが開催されました。障害のある人の文化活動を応援し、県民理解を深めることを目的としている美術展に、今年もデイケアフレンズの利用者さんが力を入れました。

木
ニ
テ
院
細
ユ
ニ
病
院

デイケアフレンズから
今年もスピリットアートに多数入賞

細木ユニティ病院

音楽療法コンサートのご案内

トリオオーブは東京を拠点に活躍中で、高知出身の演奏家が構成したトリオです。ユニット名は、坂本龍馬の言葉「日本の夜明け」からAube(夜明け)と命名。高知のためのユニットであり、主に高知県限定で演奏活動を行っています。

& 杉本成美 (ピアノ)

出演：トリオオーブ 八木木亜希 (トランペット)、阿部 鷹 (ホルン)、奥村尚美 (トロンボーン)

12月7日(金) 午後2時

第410回 ◆ 金管楽器の秘密

細木ユニティ病院では、月2回ほど、S館6階で音楽療法コンサートを開催しています。
無料ですので、一般の方もお気軽にお越しください。
* 駐車場はありません。公共の交通機関をご利用ください。

音楽には人の心を癒し元気づける力があります。音楽療法は、音楽の持つ力を活用しながら、心身の健康維持・増進、生活の質の向上を促進する治療法です。

細木病院

外来駐車場 (P5) を増設しました！



このたび、細木病院本館の県道270号線をはさんで向かいにあった細木ビルを解体、整地し、外来患者さん用の駐車場として整備しました。24台分の駐車スペースができました。なお、お車の出入りは、左図中P5の区画の県道側左上からとなっていますのでご注意ください。

外来担当医表



平成 30 (2018) 年 12 月 予定

じんせい平成30年11月号 (No.383)

仁生会 細木病院グループ		診 療 科				月				火				水				木				金				土	
		A	M	P	M	A	M	P	M	A	M	P	M	A	M	P	M	A	M	P	M	A	M				
★内科初診時は、基本的に専門の内科ではなく、総合診療科または一般内科での診察となります。  細木病院 〒780-8535 高知市大膳町37 ☎822-7211(代) 予約電話 873-3806 ただし、小児科は 822-7211 【健康管理センター】 予約電話 822-7264 ()のドクターは兼務です。		総合診療科		堀上 見田	品 原	中 村			堀 見				上 高	田 橋			丸 山	堀 見	谷 合								
		一般内科		篠 猪	原 狩	細 弘丸	木 瀬山	松 品	田 原	篠 原	古 賀	高知大 菅沼教授 授 狩 橋 高	弘 瀬	松 猪古	田 狩 賀	松 田	弘 篠原・古賀 (交代)	瀬 谷	担 当 医 (2名)								
		専門	呼吸器内科			小 林 (せき外来)	小 林					小林 (せき外来) (第2・4週) ~15:30					小 林	中 山									
			消化器内科					中 内				上 田				中 内	中 内										
			循環器内科	高知大 瀬尾教授				山 中				山 中	中 嶋	松 村	高知大 松村教授 中	西 村											
			糖尿病・内分泌内科			西 岡	丸 山	熊 田 (甲状腺外来)	谷 篠	品 篠	原 丸	山 西	岡 (甲状腺外来)			西 山 (甲状腺外来)											
		内科	糖尿病センター	熊 谷	中 村			西 岡	西 岡	中 村	中 村								高知大 寺田教授								
			腎臓内科					(西岡)																			
		内視鏡センター		中高古	内橋賀	中高古	内橋賀	高 上	橋 田	中 高	内 橋	耕 高	嶋 拓 橋	中 古	内 賀	中 廣古	内 瀬賀	高 上	橋 田	弘 高	瀬 橋	中 古	内 賀				
		外科		上 地	尾 崎 (乳腺・甲状腺)			尾 崎				上 地	上 地・西村			尾 崎	高知大 坂本 (小児外科)			上 地	花 崎教授	尾 崎					
血管外科		西 村								西 村																	
緩和ケア科						安 藤	安 藤							安 藤	安 藤	安 藤	安 藤	安 藤	安 藤								
完全予約制																											
痛み外来 (ペインクリニック)						細 川												細 川									
脳疾患センター (脳神経外科)		栗 坂	(手術)			栗 坂				高知大 上羽教授				栗 坂				栗 坂				栗 坂					
整形外科		1 診	北 岡	担 当 医	山 川	北 岡			山 川	担 当 医			北 岡	高知大 池内教授 予約のみ			北 岡	北 岡	北 岡	高知大 喜安							
		2 診	山 川	高知大 武政	南 場	高知大 泉	南 場		南 場			南 場	担 当 医	山 中			山 中	山 中	山 中	南 場							
小児整形外科																		山 川									
小児科		1 診	堂 野	新 井	新 井	新 井	新 井	新 井	堂 野	中 岡	新 井	堂 野	中 岡	新 井	堂 野	堂 野	堂 野	新 井									
		2 診	富 田	堂 野	中 岡	堂 野	高知大 医師	高知大 医師 ~17:30		細 川	中 岡	細 川	細 川	細 川	細 川	細 川	細 川	細 川	細 川	細 川							
神経小児科				細 川										細 川													
小児こころの外来						島 崎	島崎・中岡											島 崎	島崎・中岡								
完全予約制																											
耳鼻咽喉科			橋		橋	(手術)			橋				橋				橋				橋						
皮膚科・形成外科		野 田	野田(手術) ~15:30						野 田								野 田			野 田	野 田 (第3週)						
泌尿器科						山 本							山 本								坪 井						
放射線科			耕 崎		高知大 南口 9:00~12:00	高知大 梶原 13:30~16:30			耕 崎				耕 崎				耕 崎										
セカンドオピニオン外来			(細木) 13:00~15:00																		(栗坂)						
健康管理センター (健診・人間ドック)		森 下			森 下				森 下	森下・弘瀬	森 下	森下・弘瀬	森 下	森下・弘瀬	森 下	森 下	森 下	森 下	森 下	森 下	森 下						
乳がん		尾 崎			上 地								上 地					尾 崎									
子宮がん					濱 脇																						

細木ユニティ病院		精神科				再 診				吉 岡				徳 岡				高知大 赤川 10:00~				岡 村 徳 岡				吉 岡				弘 井				徳 岡				弘 井				弘 井				高知大 弘 井				吉 岡				徳 岡				吉 岡				松 田				岡村 (第2・4週) 14:00~15:30				松 田				松 田				高知大 松 田				吉 岡 (第1・3週)				弘 井				弘 井				弘 井				弘 井				弘 井				弘 井				弘 井				弘 井				弘 井				弘 井				弘 井				弘 井				弘 井				弘 井				弘 井				弘 井				弘 井				弘 井				弘 井				弘 井				弘 井				弘 井				弘 井				弘 井				弘 井				弘 井				弘 井				弘 井				弘 井				弘 井				弘 井				弘 井				弘 井				弘 井				弘 井				弘 井				弘 井				弘 井				弘 井				弘 井				弘 井				弘 井				弘 井				弘 井				弘 井				弘 井				弘 井				弘 井				弘 井				弘 井				弘 井				弘 井				弘 井				弘 井				弘 井				弘 井				弘 井				弘 井				弘 井				弘 井				弘 井				弘 井				弘 井				弘 井				弘 井				弘 井				弘 井				弘 井				弘 井				弘 井				弘 井				弘 井				弘 井				弘 井				弘 井				弘 井				弘 井				弘 井				弘 井				弘 井				弘 井				弘 井				弘 井				弘 井				弘 井				弘 井				弘 井				弘 井				弘 井				弘 井				弘 井				弘 井				弘 井				弘 井				弘 井				弘 井				弘 井				弘 井				弘 井				弘 井				弘 井				弘 井				弘 井				弘 井				弘 井				弘 井				弘 井				弘 井				弘 井				弘 井				弘 井				弘 井				弘 井				弘 井				弘 井				弘 井				弘 井				弘 井				弘 井				弘 井				弘 井				弘 井				弘 井				弘 井				弘 井				弘 井				弘 井				弘 井				弘 井				弘 井				弘 井				弘 井				弘 井				弘 井				弘 井				弘 井				弘 井				弘 井				弘 井				弘 井				弘 井				弘 井				弘 井				弘 井				弘 井				弘 井				弘 井				弘 井				弘 井				弘 井				弘 井				弘 井				弘 井				弘 井				弘 井				弘 井				弘 井				弘 井				弘 井				弘 井				弘 井				弘 井				弘 井				弘 井				弘 井				弘 井				弘 井				弘 井				弘 井				弘 井				弘 井				弘 井				弘 井				弘 井				弘 井				弘 井				弘 井				弘 井				弘 井				弘 井				弘 井				弘 井				弘 井				弘 井				弘 井				弘 井				弘 井				弘 井				弘 井				弘 井				弘 井				弘 井				弘 井				弘 井				弘 井				弘 井				弘 井				弘 井				弘 井				弘 井				弘 井				弘 井				弘 井				弘 井				弘 井				弘 井				弘 井				弘 井				弘 井				弘 井				弘 井				弘 井				弘 井				弘 井				弘 井				弘 井				弘 井				弘 井				弘 井				弘 井				弘 井				弘 井				弘 井				弘 井				弘 井				弘 井				弘 井			
----------	--	-----	--	--	--	-----	--	--	--	-----	--	--	--	-----	--	--	--	---------------	--	--	--	---------	--	--	--	-----	--	--	--	-----	--	--	--	-----	--	--	--	-----	--	--	--	-----	--	--	--	---------	--	--	--	-----	--	--	--	-----	--	--	--	-----	--	--	--	-----	--	--	--	------------------------	--	--	--	-----	--	--	--	-----	--	--	--	---------	--	--	--	-------------	--	--	--	-----	--	--	--	-----	--	--	--	-----	--	--	--	-----	--	--	--	-----	--	--	--	-----	--	--	--	-----	--	--	--	-----	--	--	--	-----	--	--	--	-----	--	--	--	-----	--	--	--	-----	--	--	--	-----	--	--	--	-----	--	--	--	-----	--	--	--	-----	--	--	--	-----	--	--	--	-----	--	--	--	-----	--	--	--	-----	--	--	--	-----	--	--	--	-----	--	--	--	-----	--	--	--	-----	--	--	--	-----	--	--	--	-----	--	--	--	-----	--	--	--	-----	--	--	--	-----	--	--	--	-----	--	--	--	-----	--	--	--	-----	--	--	--	-----	--	--	--	-----	--	--	--	-----	--	--	--	-----	--	--	--	-----	--	--	--	-----	--	--	--	-----	--	--	--	-----	--	--	--	-----	--	--	--	-----	--	--	--	-----	--	--	--	-----	--	--	--	-----	--	--	--	-----	--	--	--	-----	--	--	--	-----	--	--	--	-----	--	--	--	-----	--	--	--	-----	--	--	--	-----	--	--	--	-----	--	--	--	-----	--	--	--	-----	--	--	--	-----	--	--	--	-----	--	--	--	-----	--	--	--	-----	--	--	--	-----	--	--	--	-----	--	--	--	-----	--	--	--	-----	--	--	--	-----	--	--	--	-----	--	--	--	-----	--	--	--	-----	--	--	--	-----	--	--	--	-----	--	--	--	-----	--	--	--	-----	--	--	--	-----	--	--	--	-----	--	--	--	-----	--	--	--	-----	--	--	--	-----	--	--	--	-----	--	--	--	-----	--	--	--	-----	--	--	--	-----	--	--	--	-----	--	--	--	-----	--	--	--	-----	--	--	--	-----	--	--	--	-----	--	--	--	-----	--	--	--	-----	--	--	--	-----	--	--	--	-----	--	--	--	-----	--	--	--	-----	--	--	--	-----	--	--	--	-----	--	--	--	-----	--	--	--	-----	--	--	--	-----	--	--	--	-----	--	--	--	-----	--	--	--	-----	--	--	--	-----	--	--	--	-----	--	--	--	-----	--	--	--	-----	--	--	--	-----	--	--	--	-----	--	--	--	-----	--	--	--	-----	--	--	--	-----	--	--	--	-----	--	--	--	-----	--	--	--	-----	--	--	--	-----	--	--	--	-----	--	--	--	-----	--	--	--	-----	--	--	--	-----	--	--	--	-----	--	--	--	-----	--	--	--	-----	--	--	--	-----	--	--	--	-----	--	--	--	-----	--	--	--	-----	--	--	--	-----	--	--	--	-----	--	--	--	-----	--	--	--	-----	--	--	--	-----	--	--	--	-----	--	--	--	-----	--	--	--	-----	--	--	--	-----	--	--	--	-----	--	--	--	-----	--	--	--	-----	--	--	--	-----	--	--	--	-----	--	--	--	-----	--	--	--	-----	--	--	--	-----	--	--	--	-----	--	--	--	-----	--	--	--	-----	--	--	--	-----	--	--	--	-----	--	--	--	-----	--	--	--	-----	--	--	--	-----	--	--	--	-----	--	--	--	-----	--	--	--	-----	--	--	--	-----	--	--	--	-----	--	--	--	-----	--	--	--	-----	--	--	--	-----	--	--	--	-----	--	--	--	-----	--	--	--	-----	--	--	--	-----	--	--	--	-----	--	--	--	-----	--	--	--	-----	--	--	--	-----	--	--	--	-----	--	--	--	-----	--	--	--	-----	--	--	--	-----	--	--	--	-----	--	--	--	-----	--	--	--	-----	--	--	--	-----	--	--	--	-----	--	--	--	-----	--	--	--	-----	--	--	--	-----	--	--	--	-----	--	--	--	-----	--	--	--	-----	--	--	--	-----	--	--	--	-----	--	--	--	-----	--	--	--	-----	--	--	--	-----	--	--	--	-----	--	--	--	-----	--	--	--	-----	--	--	--	-----	--	--	--	-----	--	--	--	-----	--	--	--	-----	--	--	--	-----	--	--	--	-----	--	--	--	-----	--	--	--	-----	--	--	--	-----	--	--	--	-----	--	--	--	-----	--	--	--	-----	--	--	--	-----	--	--	--	-----	--	--	--	-----	--	--	--	-----	--	--	--	-----	--	--	--	-----	--	--	--	-----	--	--	--	-----	--	--	--	-----	--	--	--	-----	--	--	--	-----	--	--	--	-----	--	--	--	-----	--	--	--	-----	--	--	--	-----	--	--	--	-----	--	--	--	-----	--	--	--	-----	--	--	--	-----	--	--	--	-----	--	--	--	-----	--	--	--	-----	--	--	--	-----	--	--	--	-----	--	--	--	-----	--	--	--	-----	--	--	--	-----	--	--	--	-----	--	--	--

発行人 細木秀美
印刷所 高知市大膳町37
株式会社高知新聞総合印刷
〒781-8136 高知市一宮西町1-7-25
☎845-5291(代)